

JISマーク表示製品認証に係る試験報告書



一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 川上修
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号



1. 試験名称 建築用シーリング材の品質試験
2. 依頼者 会社名：サンスター技研株式会社 山梨工場及び研究開発部
所在地：山梨工場及び研究開発部；山梨県南アルプス市宮沢 181-1
3. 試験項目 スランプ，弾性復元性，定伸長下での接着性，圧縮加熱・引張冷却後の接着性，
水浸せき後の定伸長下での接着性，体積損失，耐久性
4. 試料 認証番号：第TC0308174号
製造工場：サンスター技研株式会社 山梨工場及び研究開発部
製品名称：建築用シーリング材
商品名：ペンギンシール 2570Type1-NB
製造日：2015年6月19日
サンプリング日：2015年6月24日
備考：試料の詳細を表-1に示す。
5. 試験方法 JIS A 5758（建築用シーリング材）に従って行った。
なお，適用する目地幅の条件及び被着体種類を表-2に示す。
6. 試験結果 試験結果を表-3に，詳細を表-4～表-10に示す。

表-1 試料（依頼者提出資料）

シーリング	商 品 名		ペンギンシール 2570Type1-NB
	種 類	タ イ プ	F
		ク ラ ス	12.5
		サブクラス	E
	主成分による区分		変成シリコーン系（記号：MS）
	製品形態による区分		1成分形（記号：1）
	耐久性による区分		8020
	呼 び 方		F-12.5E-8020（MS-1）
	ロ ッ ト 番 号		6235K
数 量		1 缶（4L 入り）	
トナー	商 品 名		H-バーントブラック
	ロ ッ ト 番 号		6305P
	数 量		1 袋
プライマー	商 品 名		US-5
	ロ ッ ト 番 号		6105K
	数 量		1 缶（500mL 入り）

表-2 目地幅の条件及び被着体種類

試験項目		目地幅の条件	被着体種類
弾性復元性		伸び率：60% 伸長時の目地幅：19.2mm	アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)
定伸長下での接着性		伸び率：60% 伸長時の目地幅：19.2mm	アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)
圧縮加熱・引張冷却後の接着性		拡大・縮小率：±12.5% 拡大時の目地幅：13.5mm 縮小時の目地幅：10.5mm	アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)
水浸せき後の定伸長下での接着性		伸び率：60% 伸長時の目地幅：19.2mm	アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)
耐久性 (区分：8020)	圧縮加熱	加熱温度：80℃ 変形率：-20%	アルミニウム板 (50mm×50mm×5mm)
	引張冷却	冷却温度：-10℃ 変形率：+20%	
	目地幅の 拡大・縮小	目地幅：9.6mm～14.4mm 変形率：(-20～+20)% 回数：2000回	

表-3 試験結果一覧

試験項目			試験結果	JIS A 5758に 規定される性能 [タイプF, 12.5E]
スランプ mm	縦	50℃	1	3以下
		5℃	1	
	横	50℃	0	
		5℃	0	
弾性復元性 %			82	40以上
定伸長下での接着性			3個とも破壊は生じなかった。	破壊してはならない。
圧縮加熱・引張冷却後の接着性			3個とも破壊は生じなかった。	破壊してはならない。
水浸せき後の定伸長下での接着性			3個とも破壊は生じなかった。	破壊してはならない。
体積損失 %			4	25以下
耐久性 (区分：8020)			3個とも試料の溶解，膨潤，ひび割れ，被着体からのはく離などの明確な異常は認められなかった。	明確な異常があってはならない。

表-4 スランプ試験結果

試験項目			スランプ mm			
			測定値			平均値
			1	2	3	
スランプ	縦	50℃	0.5	0.5	0.5	1
		5℃	0.5	1.0	0.5	1
	横	50℃	0.0	0.0	0.0	0
		5℃	0.0	0.0	0.0	0

表-5 弾性復元性試験結果

試験項目	弾性復元性 %			
	計算値			平均値
	1	2	3	
弾性復元性	82	83	82	82

表-6 定伸長下での接着性試験結果

試験項目	外観観察結果
定伸長下での接着性	3個とも破壊は生じなかった。

表-7 圧縮加熱・引張冷却後の接着性試験結果

試験項目	外観観察結果
圧縮加熱・引張冷却後の接着性	3個とも破壊は生じなかった。

表-8 水浸せき後の定伸長下での接着性試験結果

試験項目	外観観察結果
水浸せき後の定伸長下での接着性	3個とも破壊は生じなかった。

表-9 体積変化試験結果

試験項目	体積損失 %			平均値
	計算値			
	1	2	3	
体積損失	4.5	4.3	4.4	4.4

表-10 耐久性試験結果

試験項目	外観観察結果
耐久性 (区分：8020)	3個とも試料の溶解，膨潤，ひび割れ，被着体からはく離などの明確な異常は認められなかった。

7. 試験期間 平成27年 7月15日から
平成27年 9月18日まで

8. 担当者 材料グループ
統括リーダー 鈴木 敏 夫
主任 志 村 重 顕 (主担当)
熊 谷 瑠 子
石 山 国 義

9. 試験場所 中央試験所

以下余白